



TOP NEWS
8/20-22
Sun. Tue.

2017コヨットin埼玉(福島の子ども保養プロジェクト)

のびのび遊び！埼玉で楽しい思い出づくり

埼玉県生協連と埼玉県ユニセフ協会共催、ボーイスカウト埼玉県連盟の協力のもと、福島県の子どもたち16人を迎え、埼玉県立小川げんきプラザで開催。20日(日)は、歓迎の挨拶、グループづくりワークショップ、プラネタリウムの鑑賞、21日(月)は、東秩父村和紙の里でのそば打ち体験と和紙すき体験、夜はキャンプファイヤー、22日(火)は、むさしの村で野菜の収穫体験と遊園地を楽しみ、スタッフとの別れを惜しみながら帰途に着きました。



そば打ち体験



キャンプファイヤー



和紙すき体験



小川げんきプラザにて



9/16

Sat.

JAとの協同組合間提携の取り組み 家族で稲刈りと 田んぼの生きもの調査を楽しむ

JA全農さいたまと埼玉県生協連共催の「体験稲刈り&田んぼの生きもの調査」が杉戸町の高野農村センターと隣接する水田にて開催され、21家族74人が参加。生きもの調査ではバッタ・コオロギ等40種類を捕まえ、次に、鎌を手に、グループに分かれて稲刈りを体験、楽しい一日を過ごしました。



7/30

Sun.

第32回埼玉県原爆死没者慰霊式 核兵器のない 平和な世界への思いあらたに

しらすぎ会主催4団体が呼び掛けた実行委員会により、さいたま市民会館うらわにて開催し230人が参列。黙祷、しらすぎ会田中会長の「ヒバクシャ国際署名を上げ核兵器や原発のない世界の実現に向けて活動を続けます」との主催者挨拶、来賓挨拶と紹介、献花と折り鶴奉納、被爆の証言の朗読等おこない、最後に参列者全員で原爆を許すまじを斉唱しました。



9/26

Tue.

ヒバクシャ国際署名埼玉連絡会 核兵器禁止条約への参加と 核廃絶を願い署名活動

国連が定めた、核兵器の全面的廃絶のための国際デーに呼応し、ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名「被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求めます。」の署名活動を浦和駅東口にて実施し47人が参加。埼玉合唱団による平和の歌声の中、署名は88筆寄せられました。



8/27

Sun.

第38回九都県市合同防災訓練<埼玉会場> 応急生活商品の紹介や 防災の取り組みをアピール

「鶴ヶ島市役所」を主会場に開催され、5生協・2連合会から25人が参加。防災フェア会場では、パルシステム埼玉・生活クラブ埼玉・労済生協提供の応急生活物資頒布訓練、コープみらいのローリングストック商品の展示と投票、医療生協さいたまの健康チェックを実施しました。また、緊急支援物資授受訓練に配送トラック3台が参加しました。

鶴ヶ島市長が協定事業者へ謝辞



8/29

Tue.

適格消費者団体・NPO法人埼玉消費者被害をなくす会 カードの不正利用から 自分を守る方法を学ぶ

浦和コミュニティセンターにて、講師に原田洋一氏(一社)日本クレジット協会クレカカウンセラー)と山口朗氏(株)オリエント総合研究所)を迎え、「クレジットカード、安全に使えていますか?」をテーマに消費者力アップ学習会を開催し70人が参加。クレジットカードの「申込・利用時の注意点」「仕組み」「不正使用の現状」等を学びました。

山口朗氏

会員生協の取り組み

広がる県内生協の 多彩な活動

コープみらい

夏休みに24会場で約306人の子どもたちが 環境について学びました

今年も地域のブロック委員会が、夏休みに子どもたちが身近な場所で環境について学び・考える「エコたんけん隊」を開催しました。コープのお店・宅配センターなど24会場で306人の子どもたちが環境に配慮した商品を探したり、コープのリサイクルの取り組みを見学する「エコたんけん」や、ペットボトルや牛乳パックなどを使った工作やエコな調理を楽しみながら、環境について学び、環境に配慮した生活をする意識が高まりました。



生活クラブ生協

地球のためにできること ～生活クラブのエコフェス～

8月20日(日)、川口リリア展示ホールにて、『地球のためにできること～生活クラブのエコフェス～』を開催しました。テーマは「ボクにもワタシにも楽しくできる!身近なエコ」で、省エネゲームや自然エネルギー工作など、夏休みにお子様楽しく学べる企画を多数用意しました。そのほか、生活クラブの環境に関する活動、生活クラブでんきの紹介や、地域の各団体の活動紹介が行われました。たくさんの来場があり、たいへん賑やかなイベントとなりました。



空きピンを使ってランブシェードを作りました



コープのお店で環境に配慮した商品を探しました

パルシステム埼玉

埼玉のお茶 摘んでもんでin増岡園

9月23日(土)、狭山茶を生産する増岡園(入間市)で茶摘みと手もみ紅茶の体験を行ない、20家族50名が参加しました。増岡園は約400年続く茶農園で、味や香りを重視した昔ながらの製法と自然農法に取り組む、県内唯一の有機JAS認定農園です。今回パルシステム埼玉では初のお茶の交流産地となりました。初めての茶摘と手もみの体験に参加者は大満足な様子。摘み取った茶葉は持ち帰り、お手製の紅茶を楽しんだことでしょう。



地域の活動紹介



たのしいね!ひのきボールプール



労済生協(全労済埼玉推進本部)

「全労済創立60周年セミナー」を開催

2017年9月29日(金)に全労済創立60周年を迎えるにあたり、「ともに歩んで60年 感謝キャンペーン」の取り組みへつなげることを目的に、2017年9月14日(木)に76団体112名の参加のもと、浦和ロイヤルパインズホテルにて「全労済創立60周年セミナー」を開催しました。当日は連合総合生活開発研究所理事長・労働者福祉中央協議会顧問の古賀伸明氏による「労済運動と労働者自主福祉運動のこれから」をテーマにした講演をはじめ、協力団体での取り組み報告と創立60周年にむけた決意表明をいただきました。



埼玉大学生協

受験生サポート

8月7日(月)～9日(水)、埼玉大学学生委員会はオープンキャンパスにて、受験生の不安や疑問を少しでも解消し、受験への意欲を高めてもらう目的で企画を行いました。現役の埼大生に相談できるブース、勉強法や先輩の受験体験記が載っている模造紙展示、受験生が意気込みを書くことができる寄せ書きコーナー、学科の先輩の生の声を聞くことができるトークショーなど様々なことに取り組みました。来場した受験生からは「絶対合格します」という強い想いを聞くことができました。

医療生協さいたま

関信越ブロック組合員活動交流集会を開催しました

9月7日(木)～8日(金)、熊谷市のホテルヘリテージにおいて、関信越ブロック組合員活動交流集会を開催しました。初日は、6分科会で77演題が発表されました。各地から活動報告があったほか、健康づくりや、つながりマップ、支部ニュースの作成では、実践的な講座も開かれました。2日目は全体会で、東京大学大学院医学系研究科の佐々木敏教授による「科学的エビデンスに基づいた栄養健康情報」をテーマに講演がありました。参加者は477人で、熱気にあふれた集会になりました。



子どものその保育生協

どんな色に染まるかな(草木染)…卒園生対象事業

9月23日(土)の秋分の日に、卒園生を対象に「草木染2」を行いました。参加者は34名。今回は、新たに桜の皮を煮出してみました。桜の良い香りはするのですが、色は?期待した桜色ではなく、薄いベージュでした。他にビワの葉、ザクロの葉、ブルーベリーの実などを煮出して染液を作りました。色を濃くしようと何度も染液に付け直したり、布にビー玉を包んで縛ってみたり、割り箸や洗濯ばさみではさむと意外な模様染まりりれも楽しい草木染でした。

